

「明日の京都」中丹地域振興計画の構成

「明日の京都」中丹地域振興計画

(平成27年4月～平成31年3月)

施策の基本方向(5つの中丹デザイン)と重点施策、地域の主要プロジェクト

1 暮らしの安心・安全の確保

災害を未然に防ぐための基盤整備をはじめ、災害の被害を最小限に抑えるための防災力向上や危機管理体制の強化等、府民の暮らしの安心・安全の確保のための取組を進める。

- (1)ーア 安心・安全な暮らしを支える基盤の整備
- (1)ーイ 府民と共に取り組む防災・減災、防犯対策等の強化
- (1)ーウ 危機事象に即応する危機管理体制の強化

2 いきいき・健やかに暮らせる環境の整備

地域で安心して子どもを産み・育てることができるための支援充実を図るとともに、整備が進む医療基盤等を活用した医療・介護・福祉体制の充実強化を図るなど、誰もがいきいき・健やかに暮らせる環境の整備を図る。

- (2)ーア 安心して子どもを産み・育てることができる環境の整備
- (2)ーイ 医療・介護・福祉の充実と健康づくりの推進

3 産業の振興と定住の促進

「『森の京都』づくり」等の新たな要素も絡めながら農林水産業の振興を図るとともに、地域に根ざす中小企業等の育成、整備された高速道路や京都舞鶴港等の産業基盤をいかした物流拠点の形成、これら産業振興と一体となった定住促進を図る。

- (3)ーア 「『森の京都』づくり」の推進等による森林文化の発信と林業の活性化
- (3)ーイ 農業・水産業の振興と魅力ある中丹の「食」づくり
- (3)ーウ 地域に根ざす中小企業等の育成・支援
- (3)ーエ 京都舞鶴港や高速道路網をいかした物流拠点の形成
- (3)ーオ 定住を促進するための環境整備

4 交流人口の獲得・拡大と地域の活性化

京阪神や中京圏はもとより、海外からのクルーズ客船も見据え、市域や府県域を越えた広域観光の推進や、域内外との交流をスムーズにする道路や公共交通機関等の一層の基盤整備、さらには、これらの交流を農村集落の活性化にいかす取組を進める。

- (4)ーア 「『海の京都』づくり」の推進等による広域観光の推進
- (4)ーイ 「人・もの・情報」の交流・連携基盤づくり
- (4)ーウ 過疎化・高齢化が進む集落の維持・再生

5 共生・協働のまちづくり

個々の人権を尊重しながら、地域の課題を解決するための多様な主体の連携・協働を進めるとともに、郷土を愛し、未来を担う人材を育成するため、地域と連携した質の高い教育を推進。また、この地域の自然、環境、文化、風土をみんなで守りはぐくみ、後世に伝える。

- (5)ーア 人権の尊重と多様な主体による地域社会参画
- (5)ーイ 郷土を愛し、未来を担う人材の育成
- (5)ーウ 地域の自然・環境・文化を守りはぐくみ、平和を愛する風土づくり

地域の主要プロジェクト

- I 京都舞鶴港ランドブリッジ構想【みやこ構想】
- II 北京都ものづくり拠点構想【みやこ構想】
- III 由良川里山回廊構想【みやこ構想】
- IV 「海の京都」づくり【京都プロジェクト】
- V 「森の京都」づくり【京都プロジェクト】

地域の将来像

関西広域交流時代の「みやこ」をめざそう